



讀者之記者

記者足下 去る三十一日のサンパウロ市在留同胞の催ふしに係る、天長節祝賀會は、第一式、第二式共能く其の態が整つて成功であつたと思ひます、先づあれまでに行けば、委員諸君の骨折も一通りではなかつたと思ふが在留同胞も一年と伯刺西爾の習俗に慣れて、洋服の着こなしや、ネクタイの結び方、帽子の冠り方まで大分恰好が良くなつた様だ

衛生講話

年諸氏の態度は、若し其れが眞實な所行といはねばならぬ、日本人は同情に厚く、義侠に富んで居るにも拘はらず、動もする人々を嘲弄する癖がある、之は日本人同志の間でも良くないことであるが、殊に外人に感情の強い其の上本國が勝敗交々といふので、氣も顛倒して居る伊太利人に對して嘲弄の言をあげせ懸けるといふことは宜しくない、斯ういふ時は事の眞偽に拘はらず同情を寄せて遣るが、然らざれば黙して他の感情を害ねない様にして遣るのが最も此の同情あつて始めて他と親しむことが出来るのであるから、私共は如何なる場合に於ても此の同情といふことを閉却してはならぬのである。(記者)

結核の歌

遠山博士の作にかゝるものなる由な結核の歌の恐るべきこと、其預防法をよくいひ盡されてある。一、ああ結核よ結核よ、紅顔美麗の少年も、鬼をあざむく武士も、若し此病にかかりなば、嵐の前の花なれや、恐れとも猶恐るべし。二、ろも肺病は目に見えぬ、結核菌の襲ふ來て、強きを誇る體にも呼吸に障りある時は、その弱點につけ入りて、つひには病を起すなり。三、されば豫防の第一は、結核菌を近づけず、常に體を養ひて、よしかの菌の襲ふとも、打ちかつ程の體力を、備へなくば、秘訣なれ。四、日もうら、かの春の海、空すみわたる秋の野邊、あけ放ちたる高ごの、はき清めたる庭の面塵も汚れぬ芝生など、呼吸の爲の仙境。

東京電

東京市の暴風雨災害

十月二日東京を中心として關東一面及び東海岸數十里にわたる大暴風雨は二十年來始めての慘害にして市内は家屋の倒潰せるもの樹木の折れ倒れたるもの。道路を埋めて歩行 する事は半潰れや屋根取られたる家屋は到底敷へ切れず公園の樹木も大半吹き倒れて慘狀目も當られず。早稲田大學生三名 其の下宿屋倒潰れ共に押し潰されて、慘死を遂げたが大塚に在る電車庫も亦た潰れ公立學校、官衙、寺院等の倒潰少なからず。有名の本所相生橋 大洪水の爲めに押し流され遊藝地として名高き箱根にても橋梁流失の爲め歸京する能はざるもの多風光絶佳を以て鳴る同地の山水も全く荒涼の狀に變せり。死者は京橋區月島 於て二十名大森に於て卅名洲崎に於て五名大塚に於て四名の死者は多かるべく未だ充分の調査を終るに至らず暴風雨と共に海濱押寄せ來りし爲め多く被害多きなり。淺草本所日暮里等 市内の北部及び市外は隅田川の増水と一般の地下水の爲め全く浸水して甚しきは屋根の見ゆ處すらあり船ならは交通不能なり。電信電話多く不通 となり市外との通信一時は全く絶たれ電車及汽車の全く不通となりもの多く株式取引所は立合中止せり殊に恐れ多くも宮城の被害甚だしと云ふ當局者は直に罹災民救助に着手せり。

聖上陛下暴風雨被害御慮念

聖上陛下には今回の暴風雨被害空前に慘憺たるを御慮念あらせられ被害地御慰問の勅使を差遣せられたり勅使は暴風被害區域の最南端たる神戸より順次に東海各地を経て東北方面へ向ふ等なり。茨城縣下の損害 今回の暴風雨に際して茨城縣下に於て被害甚しき被害地は茨城縣下の報告に依れば同縣の洪水浸水家屋五萬二千四百餘家屋四百に達す。東京府下の損害 東京市を以て東京府下の損害は浸水家屋二千四百餘家屋九百に達し日暮里及び大森の被害殊に大なり。新聞面依然縮少 東京の各新聞は電流の供給不十分なる紙の缺乏等のために本日依然として平常の頁数の半分のものを發行しつあり電車は尚ほ一部分不通なり。

佐藤艦隊擊沈

英國運送船擊沈の復讐 東京に倫敦より來りたる電報に依れば十月六日地中海に活動中なる我佐藤少將率の驅逐艦隊は英國の郵船チャイナ號を擊沈したる獨逸潜水艇を發見し直に砲火を浴び掛けて遂に之を擊沈したるが如し。チャイナ號遭難 英國郵船チャイナ號は軍隊輸送の任務に

伊軍の連戰連敗

獨逸軍の活動 佛國北部の陣容又亂れず、獨逸軍は到底英佛軍を突破し難しと斷念せるにや、先般來大軍を東部戰線に集中し先づリイガに追つて之を獲領し海軍次いでフィンランド灣に出沒して頻りに露都を威嚇しつ、ありしが俄然先月下旬獨逸軍はホン、マッケンゼン將軍を總司令官として久しく沈黙の状態にあり伊軍の戰線に雪崩の如く押し寄せ必死の抵抗も猛悍なき獨逸軍の前には何等の力なく忽ちにしてゴリチャ陥落し、獨逸軍は勢に乗じて更にイゾンゾを渡りウチチを壓迫し今や連敗の跡見苦しき伊軍をタリアメント川向ひに追ひつめ、茲に雲霞の如き大軍を集中し餘裕綽々として來るべき大演習に備へ、つあり。獨逸軍の一部は已に同河を越へ、伊軍應援の英佛軍又上陸せりとの報あれど眞偽詳ならず。聯合國は此敗戦の續行を恐れ英佛兩首相羅馬に急行し極力之が援助策を講ずべしと傳ふれど果して伊軍はマッケンゼン將軍の精兵を撃退し得べきか。兩軍の損失未だ分明せず(六日迄の電報)。

日本新協約

對日米協約に基き兩國政府は戰時中財政及軍事に就き互に協力す可く且つ米國は日本が支那に於ける優越權を承認せり。右に關し石井使節は首途出發前聲明して曰く此協約に依り益々日米兩國の親睦なるは勿論又支那に於る獨逸の勢力を驅逐し永く其保全を持続し得べしと(華府六日)。

集募ドラマカ 月給百鈔 希望者は左記宛て 聖市コソデ街四六 渡邊孝宛て御照會あれ

純米國式 最新流行形各種 春廣一組金七十鈔より 百四十鈔迄 矢部洋服店 R. Conde Sarzedas 65, St. Paulo

生徒募集 尚詳細は本校に御問合せあれ 正則葡語學校 聖市コソデ街八十七番

會席御料理 聖市コソデ サルゼーダス街四九 上地彌藏 郵函二二三五番

日本近信

早大三博士の提擧困難

坪内博士も高田博士もたずり... 早稲田大学の問題が勃発してから...

早稲田大学の問題が勃発してから... 坪内博士も高田博士もたずり...

坪内博士も高田博士もたずり... 早稲田大学の問題が勃発してから...

早稲田大学の問題が勃発してから... 坪内博士も高田博士もたずり...

坪内博士も高田博士もたずり... 早稲田大学の問題が勃発してから...

早稲田大学の問題が勃発してから... 坪内博士も高田博士もたずり...

坪内博士も高田博士もたずり... 早稲田大学の問題が勃発してから...

持員も辭し一切關係を斷つた今日で

あり且つあの様な暴徒に等しい學生... 共の騒ぎの後今更飛び出した...

あり且つあの様な暴徒に等しい學生... 共の騒ぎの後今更飛び出した...

共の騒ぎの後今更飛び出した... あり且つあの様な暴徒に等しい學生...

あり且つあの様な暴徒に等しい學生... 共の騒ぎの後今更飛び出した...

共の騒ぎの後今更飛び出した... あり且つあの様な暴徒に等しい學生...

あり且つあの様な暴徒に等しい學生... 共の騒ぎの後今更飛び出した...

共の騒ぎの後今更飛び出した... あり且つあの様な暴徒に等しい學生...

以上何ぞか利用の方法もかなと岩本

技師は苦心の結果立派な利用法を完... 成化用用の石鹼原料となり得る純白...

成化用用の石鹼原料となり得る純白... 技師は苦心の結果立派な利用法を完...

技師は苦心の結果立派な利用法を完... 成化用用の石鹼原料となり得る純白...

成化用用の石鹼原料となり得る純白... 技師は苦心の結果立派な利用法を完...

技師は苦心の結果立派な利用法を完... 成化用用の石鹼原料となり得る純白...

成化用用の石鹼原料となり得る純白... 技師は苦心の結果立派な利用法を完...

技師は苦心の結果立派な利用法を完... 成化用用の石鹼原料となり得る純白...

初は平氣なりし縣當局に於ても周章

狼狽善後策を講じ居れり... 今彼等の萬引手段を聞くに全く黒...

狼狽善後策を講じ居れり... 今彼等の萬引手段を聞くに全く黒...

今彼等の萬引手段を聞くに全く黒... 狼狽善後策を講じ居れり...

狼狽善後策を講じ居れり... 今彼等の萬引手段を聞くに全く黒...

今彼等の萬引手段を聞くに全く黒... 狼狽善後策を講じ居れり...

狼狽善後策を講じ居れり... 今彼等の萬引手段を聞くに全く黒...

今彼等の萬引手段を聞くに全く黒... 狼狽善後策を講じ居れり...

女子大學にチブス

寄宿舎の消毒... 府下豊島郡高田村日本女子大學寄宿...

寄宿舎の消毒... 府下豊島郡高田村日本女子大學寄宿...

府下豊島郡高田村日本女子大學寄宿... 寄宿舎の消毒...

寄宿舎の消毒... 府下豊島郡高田村日本女子大學寄宿...

府下豊島郡高田村日本女子大學寄宿... 寄宿舎の消毒...

寄宿舎の消毒... 府下豊島郡高田村日本女子大學寄宿...

府下豊島郡高田村日本女子大學寄宿... 寄宿舎の消毒...

娘の學資に竊盜

十數箇所を捜査し娘は教員... 松江市北堀無職坪倉藏次郎(?)は...

十數箇所を捜査し娘は教員... 松江市北堀無職坪倉藏次郎(?)は...

松江市北堀無職坪倉藏次郎(?)は... 十數箇所を捜査し娘は教員...

十數箇所を捜査し娘は教員... 松江市北堀無職坪倉藏次郎(?)は...

松江市北堀無職坪倉藏次郎(?)は... 十數箇所を捜査し娘は教員...

十數箇所を捜査し娘は教員... 松江市北堀無職坪倉藏次郎(?)は...

松江市北堀無職坪倉藏次郎(?)は... 十數箇所を捜査し娘は教員...

お手際は黒人以上

佐賀小城中學生の大萬引事件... 佐賀小城中學生の大萬引事件...

練習課題答案 1. E' aquele o seu livro? あれは貴方の本ですか 2. Meu livro é este. 私の本はこれです...

三人旅

南鳩生

八日の朝七時に起きて、天気は... 未だ霧れず、緑葉に垂る、雲は緑の如く、海は煙雨に推はれて模糊たる眺めであつた、隣室茅原さんの戸を叩けば、今や冷水擦の真昼中、既に頭に行水が終り、胸と背中が済み是から其の次に懸らんとする順序なので、僕も之は失敬と戸を閉めた。部屋に飯つて、多羅間さんご出發の用意をして居ると、茅原さんの正装烏打帽の仕度も出来た、こゝに三人連れ立ちて食堂へ繰り込んだ、食卓につくと、茅原さんはボーイを捉へて、マッシュ、マッシュと遣つた。此處はワシントン、ホテルに幾分英語が解かる見へ、少しまごまごして居たが、少時の後刷毛を持つて来た、之に接した茅原さんはサンキユとばかりに食堂の真中に突立て毛布の毛澤山な洋服の埃りを拂ひ始めたので、主人とボーイがクスクス笑い出す、餘程離れて食事して居た伯人の一組は、見て見ない振りして珈琲を啜る、茅原さんは自己の潔癖を遺憾なく發揮し終りて平然たるものである。

時間が切迫したので、食後直ちに自動車と呼び、之に三人飛び乗せて、ジュキア行きの停車場へ走らせた此の時、横ざまに吹き来る風は雨に勢を添へて、大粒なやつを車の母衣へ叩きつけるやうに降り懸る、陰々たる空は一面に黒雲が舞ひ込んで、何んだか心地の悪しき朝であつた。發車は九時二十分、僕等の停車場に着いたのが丁度九時である、多羅間さんは例に由りて、切符を買ふ、辨當用意の電報を打つ、何から何まで至り盡せりて、愈々上等列車に乗り込んで、先づ是ならいから降つても大丈夫だ、腰をたろすと問もなく汽車が揺き出した。上等列車と云へば、大層大製法に聞ゆるが、實は一つの車を二つに仕切つて、其の一部にトウ椅子を据へ付け、心に過ぎないのて、而かも小さな汽

關車が、狭い鐵路を、薪の燃料で、徐かに且つ安全に、コトコトと走るのである、之は寧ろ機式だ、此の發着が沿道の大自に好く調和した旅行者の僕等をして、趣味津津たるを覺へしめたのは、意外の掘出しものであつた。汽車は強雨の中を、サンピセントの海岸に沿つて走れば、左側は廣々とした海原で、たま／＼吹き来る風が打つ偉觀があるに反し、右側は飽までも冷静に、山陵起伏の中を小川が緩かに流れ、太つた牛は其のあたりを道遙しながら泰平を呻つて居る是れ恰も、陸海の名畫を一幅に集めた如き畫題がある。車中では、茅原さんは讀書三昧、多羅間さんは何んだか物足ぬ顔つき、其れに此の行は一車借り切りの様な具合で、僕等三人の外に眺めとして乗客もなく、只待つものはた辨當であるが、是もイタンアエンまで行かざれば有りつけず、外との眺めも少とあきたので、僕はいつか居眠を始めてゐた。

「まづ窓を閉めきつて、その窓の戸に、わざと小さな穴をあけておき、うしてその穴の縁に、うつと松脂をつけておきました。」  
「燕はそんな事は知りません。相變らずまめに飛びまはつて方々の家の戸を覗いて居ましたが此の家は戸が閉つて居るのを見ますと一層中が覗き度くなりました。」  
「そこを見込んで窓の中では、わざと面白さうな語聲を聞かせましたか、燕はもうたまにならなくなつて、その穴へ頭を突込み、中を覗きにかかりました。」  
「何を、何を、いさなりその頭を覗いて。」  
「ヤイこの横着者め！」  
「云ひながら打ちましたから燕は驚いて頭を抜かすさうな顔でしたが松脂で頭がくっ付いてしまつて、もう抜く事が出来ません。」  
「こりや燕！ 何だつて人の家を覗いてまはる。」  
「はい、どうも済みません。」  
「何だつて人の家の缺點を方々ふれまはるんだ。」  
「まごに申分が御座いませぬ。」  
「この多辨！ 以後の誠めにかうしてやらう。」  
「云ひながらうの嘴に糸を据さうにしましたから、燕は吃驚して、ア、御免なさい！」  
「云ひながら逃げやうとして悶擾けば悶擾くはご頭が、しまります。それを無理に引ぬいた拍手に頭の毛が剥けて血が出ましたから。」  
「オ、痛いな。」  
「泣きながら逃げて行つて、此事を神様に訴へ。」  
「どうも人間が酷い事をしていけません、罪もない私の頭に、こんな怪我をさせました」と云ひます。  
「ソレ、其通り嘘を云ふ。それだからうらんな目に遭ふのだぞ。」  
「反對に叱りを受けましたが、それ以來燕の頭はあの通り赤くなつたのだと云ひます。」



燕の頸輪 巖谷小波

「まづ窓を閉めきつて、その窓の戸に、わざと小さな穴をあけておき、うしてその穴の縁に、うつと松脂をつけておきました。」  
「燕はそんな事は知りません。相變らずまめに飛びまはつて方々の家の戸を覗いて居ましたが此の家は戸が閉つて居るのを見ますと一層中が覗き度くなりました。」  
「そこを見込んで窓の中では、わざと面白さうな語聲を聞かせましたか、燕はもうたまにならなくなつて、その穴へ頭を突込み、中を覗きにかかりました。」  
「何を、何を、いさなりその頭を覗いて。」  
「ヤイこの横着者め！」  
「云ひながら打ちましたから燕は驚いて頭を抜かすさうな顔でしたが松脂で頭がくっ付いてしまつて、もう抜く事が出来ません。」  
「こりや燕！ 何だつて人の家を覗いてまはる。」  
「はい、どうも済みません。」  
「何だつて人の家の缺點を方々ふれまはるんだ。」  
「まごに申分が御座いませぬ。」  
「この多辨！ 以後の誠めにかうしてやらう。」  
「云ひながらうの嘴に糸を据さうにしましたから、燕は吃驚して、ア、御免なさい！」  
「云ひながら逃げやうとして悶擾けば悶擾くはご頭が、しまります。それを無理に引ぬいた拍手に頭の毛が剥けて血が出ましたから。」  
「オ、痛いな。」  
「泣きながら逃げて行つて、此事を神様に訴へ。」  
「どうも人間が酷い事をしていけません、罪もない私の頭に、こんな怪我をさせました」と云ひます。  
「ソレ、其通り嘘を云ふ。それだからうらんな目に遭ふのだぞ。」  
「反對に叱りを受けましたが、それ以來燕の頭はあの通り赤くなつたのだと云ひます。」

旅館、和洋御料理  
月見亭  
尚ほ旅宿者の便を計る爲め今回聖市の事情に委しき人を雇ひ入れ買物其他一般の案内手引を致すべく候  
聖市コンデ街六九  
野村  
電話四五九セントラル

日本金兩替  
紙幣金銀貨多少に拘はらず御取替可申上候  
日本賣藥、生藥、大工道具類、土佐銀類、種子物類販賣(全部日本品)  
苦(鹽)結晶固形品)豆腐原料  
葛粉粉、こんにやく製造原料  
數の子(干物)壹キログラム五ミル  
こんにやく販賣開始  
こんにやく一枚  
二百レイス  
ブラジル時報市内申込所  
聖市コンデ街五番  
サルゼダス  
木藤商會  
R. C. Sarzedas 51  
S. Paulo  
大澤醬油取次所

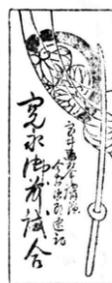
齋藤時計修理處  
Rua Conde de Sarzedas 50  
S. Paulo  
親切丁寧  
期日正確  
價格低廉  
美芳香  
竹印醬油  
一瓶一針五百レイス  
聖市モック街五二六番  
大澤商店  
竹細工部、醬油釀造部  
木藤商會へも本店同様御愛顧願上候  
R. da Mooca 526,  
S. Paulo

美芳香  
竹印醬油  
一瓶一針五百レイス  
聖市モック街五二六番  
大澤商店  
竹細工部、醬油釀造部  
木藤商會へも本店同様御愛顧願上候  
R. da Mooca 526,  
S. Paulo

第四課 (Lição Quarta)  
1. Aqui estamos numa escola dos meninos.  
私共は此處に小供の學校に居ります  
2. Ha muitos meninos que estão aprendendo n'esta escola.  
此の學校に勉強して居る小供は澤山あります  
3. Agora Tarô está lendo um livro de leitura.  
今太郎は讀本を讀んで居ります  
4. Elle já sabe lêr o livro e, por isso, está contente.  
彼はもはや其本を讀む事が出来ます。ですから満足して居ます  
5. As meninas estão cantando na sala de musica e os meninos brincando no jardim.  
女の子等は音樂室で歌をうたい。男の子等は庭で遊んで居ます  
6. Que é que você aprendeu na escola?  
汝は學校で何を習ひましたか  
7. Aprendi a lêr e escrever.  
私は讀むこと、書くことを習ひました  
8. Amanhã aprenderei desenhar, o que parece ser muito difficil.  
明日は畫を描くことを習ひませう。それは大へん六づかしくあると思ひます  
9. Eu gosto de escola.  
私は學校が好きです

10. De vagar se vae ao longe.  
人はゆるゆると遠方へ行きます  
註解 1. 私共は、吾等はと云ふ語は nós けれど此處にては estamos (吾々があります)のみにて私共が...居りますの意明かなれば之を略す。「私共」は nos にて強着符なし。Estamos は estou の復數語。Numa は m(中)に冠詞 uma の縮合せるもの。Numa escola は殊更に指名せずして「唯或る學校の中に」の意である。  
2. Ha は何々があると言ふ語なれど está 又は estão の如く人や物の舉動又は状態を示す時用ひらるゝこと無く。唯單に物が存在する。即ち物の有無を言ふ時に用ひらる。例へば Estou doente. (私は病氣であります)は状態を示し Há muitos doentes n'esta cidade. (此の町には多數の病人があります)は病氣の有無に就き言はる。Ha の代りに tem を用ふるは正しからず。Doente は場所に依り「不快」とも言ひ「病人」とも譯さる。Meninos は menino の復數なれば形容詞 muito も muitos となる。Que は何々する所のと云ふ語である。Aprendendo は習ひつゝと言ふ語にて aprender の變化せるものである。大抵の場合語尾が endo, ando 若くは indo で終る語は「何々しつゝ」即ち或動作の進行中なるを示すものである。而して此等の語は está, estou, estão, estamos 等の語に伴はるゝ場合を常とす。n'esta は em と esta の縮字。  
3. Lendo は lêr(讀む)の變化せるものにて endo にて終る故前述の如く讀みつゝの意。  
4. Já 已に。此に反し ainda は未だである。Por isso ろれ故に。Contento と云はすして satisfeito と云ふも(満足に)の意となる。邦語の「うれしがつて」は contente である。  
5. Cantando は cantar(歌ふ)の變化せるもの。Brincando は





兄弟の義を結ぶ

第十一席 一刀齋彌十郎と兄弟の義を結ぶ
彌十郎は、片傍に土産物を投げて、手に掛ける。...

結成るべく早く
娘は成るべく早く
結婚しなさい
若し女が生む子は死亡
率が少ない

ANTUNES DOS SANTOS & COMP. AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSHEN KAISHA
大阪商船會社定期船
タコマ丸
日本郵船會社臨時船
若狭丸

告示
今般當館に於て在留日本人土地所有者名簿を
作成候に付土地所有者は至急左記の事項を届
出相成たし
一、原籍 名 姓
一、土地の所在地及最近停車場名
一、土地の面積及買入地價
一、年賦拂込の者其拂込の方法及契約の
時日并に拂込金額
右 告 示
大正六年九月
在サンパウロ市
帝國總領事館
Caixa Postal 1167
S. PAULO.